

識別番号・報告回数	B-07009173	第1報	一般的名称	塩酸アママンタジン	該当なし
担当医等の意見			報告企業等の意見		
関連性ありと考える。 (うつ状態：重篤、多分関連性あり／食思不振：中等度、関連ないとも言えない) (追加情報1) なし。			うつ状態、食思不振に関し本剤の関与の可能性が考えられる。 (うつ状態：既知、重篤、SUSPECTED／食思不振：既知、中等度、SUSPECTED) (追加情報1) 評価に変更なし。 (うつ状態：既知、重篤、SUSPECTED／食思不振：既知、中等度、SUSPECTED)		
今後の対応					
本報告をもって特別な対策は必要ないが、今後とも類似の報告に留意し、慎重に対応していきたい。					
送信者による診断名／症候群及び／又は副作用／有害事象の再分類			第一次情報源により報告された副作用／有害事象		
累積報告件数・使用上の注意記載状況等					
1. 使用上の注意の記載状況 国内：警告；インフルエンザの予防や治療に短期投与中の患者で自殺企図の報告があるので、精神障害のある患者または中枢神経系に作用する薬剤を投与中の患者では治療上の有益性が危険性を上回ると判断された場合にのみ投与すること。／抑うつの記載あり。 PDR：記載あり CGSI：記載あり 2. 追加報告理由：事象発現時の患者の記憶、既往歴に関する情報追加のため。					
引用文献			資料一覧		
・北川 淳三 ・北川 淳三 ・北川 淳三					
			MedDRA		Version (10.0)